

RDS20000「」取扱説明書

◆安全に関する重要な内容です。

ご使用のまえに本取扱説明書を必ずお読みください。

本取扱説明書は必ず保管してください。

※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。

注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告



必ず守る

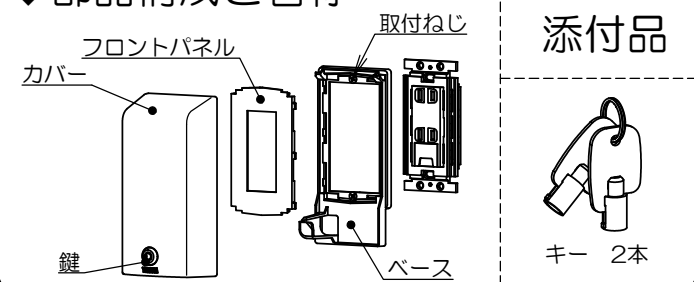
- ◆製品の分解・改造はしないでください。
- ◆本製品の上に乗ったり、物を載せたり、強い衝撃を与えないでください。
⇒破損、けがの原因となります。
- ◆本製品が破損した場合は必ず使用を中止してください。
⇒けがやコンセントの破損の原因となります。



注意

- ◆洗剤や化学薬品、ワックス等を使用しないでください。
⇒製品の変色、腐食の原因となります。
- ◆カバーの開閉動作時に手をはさまないように注意してください。
⇒けがの原因となります。
- ◆故意に水をかけないでください。

◆部品構成と名称



添付品



キー 2本

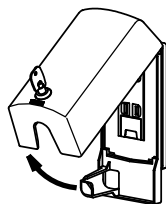
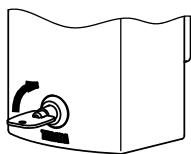
保守・点検について



必ず守る

- ◆本製品は定期的に点検を行ない、乾いた布などでホコリを取り除いてください。
⇒焼損・火災の及び開閉不良の原因となります。
- ◆表面の汚れは、固く絞った濡れ雑巾等で拭き取ってください。

1 カバーをはずす



- ①添付のキーをシリンダー錠に挿込み、右にまわしてください。
- ②カバーを上を持ち上げると開く事ができます。

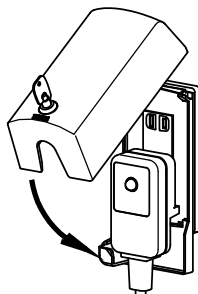
◆注意◆

止め金具に負荷を掛けたり、キー差し込み及び引き抜きながらの回転動作は行なわないでください。正常に施錠が行えずカギが開いてしまう可能性があります。

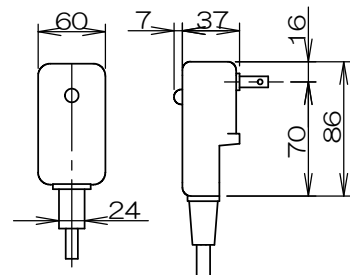
※鍵付き製品の場合、塵、埃により施錠動作が悪くなる場合があります。定期的に鍵穴のメンテナンスを行ってください。動作改善のために潤滑スプレーをご使用になる際は、鍵穴専用のフッ素系潤滑スプレー以外ご使用にならないでください。

2 電源プラグの収納

- ①温水洗浄便座の電源プラグを接続してください。また必要に応じてアース線を接続してください。
- ②カバーをはめて鍵をかけてください。その際、ケーブルをはさまないように注意してください。



収納可能な電源プラグの最大サイズ



③左図の寸法より小さい電源プラグが使用可能です。
※形状によりご使用いただけない場合もあります。

④左図のような漏電遮断プラグを使用する場合は、同時に他の電源プラグを使用することはできません。

施工例の動画をインターネットで公開予定です。

YouTubeで **まもれーるトイレくん** を検索

保証書

本保証書はお買い上げの日から保証期間中の中で発生した故障などについて無償修理または無償交換を保証するものです。

製品名	まもれーる・トイレくん
型番	RDS20000
保証期間	お買い上げ日より1年間

◆保証規定◆

1. 本製品を購入した際のレシートまたは領収書等の証明によってお買い上げ日となります。
2. 取扱説明書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には無償修理、または同等製品との無償交換をいたします。
3. 保証期間中の修理または交換をご依頼になる場合は、お買い上げの施工店または販売店にお申し付けください。
4. 保証期間内でも次のような場合には、有償修理となります。
 - (1) 本保証書と購入した際の領収書等のご提示がない場合
 - (2) ご使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (3) お買い上げの後の輸送、移動時の落下などのお取扱いが不適切なために生じた故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧など、外部要因による故障及び損傷
 - (5) 他の機器に起因して生じた故障及び損傷
5. コンセント、プラグ、壁面など本製品以外は対象外となります。
6. 製品本体のみ保証対象の為、取付けにかかる工事費用等は対象外となります。
7. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
8. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管して下さい。

◆お問い合わせ先◆

株式会社TERADA


東日本：042-795-7648

西日本：06-6350-1361

RDS20000「」 施工手順書

◆安全に関する重要な内容です。


施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。
 施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。
 ※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。
 注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。



警告

必ず守る

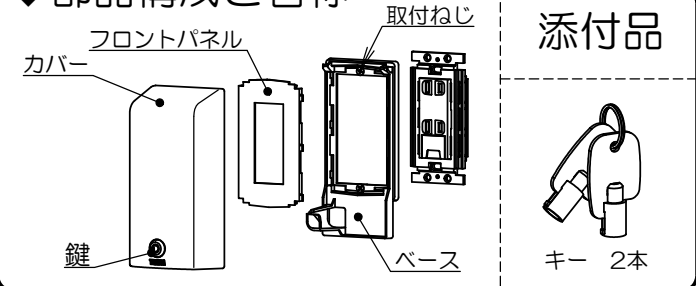
- ◆製品の分解・改造はしないでください。
- ◆屋内の壁用コンセント以外には使用しないでください。また屋外や雨水のかかる場所では使用しないでください。
- ◆施工は本施工手順書通り正確に行なってください。⇒破損、けがの原因となります。
- ◆本製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。⇒破損、けがの原因となります。
- ◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。⇒製品の破損原因となります。



注意

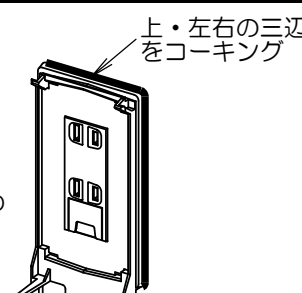
- ◆施工前に取付場所のスペースをよく確認してください。⇒スペース不足の場合、鍵の開閉やカバーの脱着ができない場合があります。
- ◆通行の障害となる様な場所や、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。⇒製品の破損・故障の原因となります。
- ◆洗剤、化学薬品、ワックス等を使用しないでください。⇒製品の変色、腐食の原因となります。
- ◆故意に水をかけないでください。
- ◆本製品の取り付けに電気工事士資格は不要ですが、壁用コンセントの脱着は有資格者以外は行わないでください。

◆部品構成と名称



取り付ける際のご注意

- ◆本製品を取付ける壁面が平らな事を確認し、凹凸がある場所へは無理に取付けを行なわないでください。
- ◆IPX3相当の防滴性能維持のためには、壁とベースとの間にコーキング等が必要になります。



上・左右の三辺をコーキング

1 フロントパネルの取り付け向きを決める

フロントパネルの取付向きを決めるため、梱包箱のフタの部分を垂直に当ててコンセント面の壁からの高さを確認してください。

※壁との隙間が

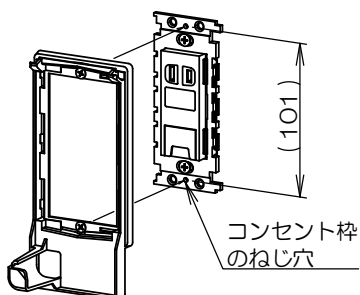
- ・ほぼ無し …Lタイプ
- ・隙間あり(約2mm) …Hタイプ

2 コンセントプレートをはさず

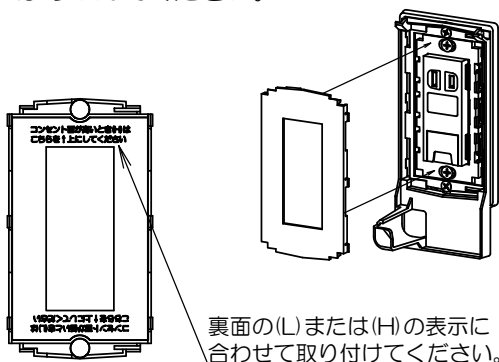
元のコンセントプレートをドライバーではずしてください。

3 コンセントへの固定

①ベースをコンセントにねじ止めしてください。



②フロントパネルの向きに注意してはめこんでください。



③必要に応じてアース線を接続してから電源プラグを挿し、カバーをかけて完成です。

